

ネギ平床栽培法の省力・高位生産化技術の開発

平成6年県北のネギ産地に導入された平床栽培は、「A品率が高い」「揃いが良い」「器具が安価」等の理由から急速に普及しましたが、移植作業が重労働で、「育苗」「施肥」等の栽培管理技術に未確立な部分がありました。

このため、井関農機・ふかや農協と共同で、既存の平床栽培のメリットを踏襲し、「移植能率が手植えの2～3倍」、「高齢者・女性にも扱え労働負荷が少ない」、「軽トラックに搭載できる」平床移植機を開発しました。

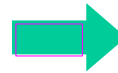
また、平床栽培を解明し移植機に合わせた栽培技術組み立てを行いました。

1 ネギ平床移植機の開発

(1) 植え付け作業の改善



慣行平床栽培



平床移植機

(2) 平床移植機の性能等

ア 植え付け作業能率は、手植えの2～3倍です(3,000～4,000本/時間)。

イ 改善が必要とされる作業姿勢は、1/10に軽減できます。

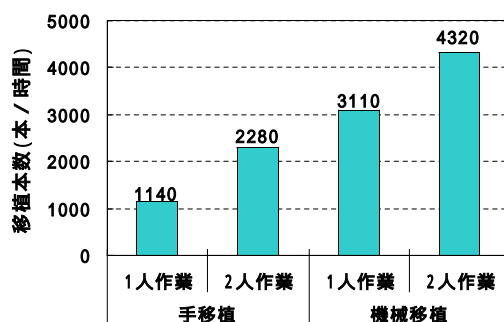
ウ 移植機導入の経済的作付け面積は、30a以上です。

2 ネギ平床移植機の効率的利用法

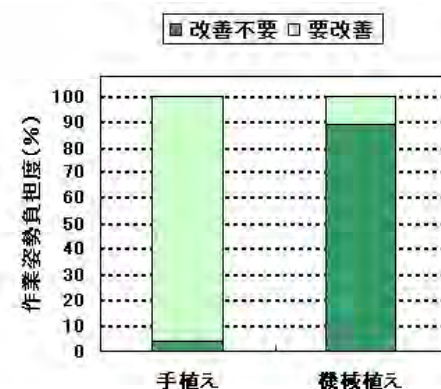
(1) 移植機に適した苗は、太さ8～10mm、葉鞘長12～15cm、調整後の草丈30cm以内、葉の開きが7cm以内の苗です。

(2) 栽植方法は、2条千鳥植で条間2～4cm・株間5～6cmが、生育・収量・品質とも優れます。

(3) 植え付け深度は、葉鞘部分までです。



移植機の作業能率



移植方法別作業姿勢比較

3 成果の普及定着

(1) 「ネギ平床栽培の基礎知識」と「ネギ平床移植機を活用した秋冬どり栽培マニュアル」を作成し、技術指導資料として関係機関へ配布しました。

(2) 本県では、2007年7月現在、約180台の移植機が導入されています。

(園芸研究所 野菜・花担当：0480-21-1113、露地野菜担当：049-285-2206)